

(様式6-3)

研修等 報告書

平成30年8月2日

三田市議会議長 今北義明 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者		印
		議員名	檜田 芳	印
参加者氏名	印			
講演会等研修名	第15回全国地方議員交流研修会			
研修事項	トランプ政権と自主の日本、地域の自立(仮題) 舟山康江氏 分科会：○地域経済の現状と課題、打開の道～第4次産業革命・不可避の地域経済大再編～ ○地域経済の現状と課題、打開の道～農林水産業を中心に持続可能な地域経済循環を目指す～他			
日 時	平成30年7月25日(水曜日)～平成30年7月26日(木曜日)			
場 所	遊学館：山形県山形市緑町1丁目2-36			
所 見	別紙参照			
添付資料	・研修会次第書 ・舟山参議院議員講演レジメ ・第3分科会出席者一覧 ・神奈川県綾瀬市経済の現状と課題 ・会場写真は美藤議員報告書に添付 (← 舟山 檜の議員に添付)			

6 添付書類(講演会内容のパンフレット等)

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、参加者氏名は不要)

(別紙)

所見

1、記念講演 「トランプ政権から浮かび上がる日本の現状と課題」

～自立した日本と地方創生のために～

参議院議員 舟山康江 氏

講演内容については、別添資料参照

自国中心主義、世界の警察放棄等アメリカトランプ政権により世界平和、世界経済に大きな変化が生じる懸念、そして日本への影響等についてわかりやすく解説いただき、併せて課題解決への道りについて論じられました。現在の国会の状況から野党の果たすべき役割として、真っ向から挑むのではなく、付帯決議等の対応で、国民生活への影響を緩和する道を探るべきでは？地方議会でも、与党・野党に分かれるのではなく、住民目線を意識しながら、チェック機関としての役割を果たすことが大切と、いたずらに対立するのではなく、党派を超えた対応を求められた。

2、特別報告 「基地のまちから平和への希求」 沖縄県北谷町長 野国昌春 氏

アメリカから返還された土地の活用について、自然を活かしたリゾート施設の誘致し、賑わいを生み出し、基地撤退後も地域経済についての不安を解消しているとの報告がされた。アメリカ軍基地の縮小や撤退後の地域経済について、施策展開次第で十分に対応が出来ることが実証されている。

3、スピーチ 元福島県知事 佐藤栄佐久さん が予定されていたが、
佐藤さんの都合により取り止めとなった。

4、分科会 地域経済の現状と課題、打開の道。

～第4次産業革命、不可避の地域経済大再編～

参加した議員等全員より、地域経済の状況について自己紹介を兼ねて簡単な報告をし、その後に神奈川県綾瀬市議会越川好昭議員より「神奈川県綾瀬市経済の現状と課題」との問題提起を受け、討議に入った。参加市からは、インターチェンジに近い利便性を活かした企業誘致や、自動運転の発展による山間地等の高齢者外出支援への期待等が語られた。最後にフリーライターの大島氏より例として既に関税等大きな問題が生じ、自動運転やEV化シェアリングエコノミー等100年に一度ともいわれる大改革が進む自動車産業を例に、技術革新で破壊的な変化が起きようとしている。生きるか死ぬかの瀬戸際の技術開発競争が激しさを増している。そうした中で、与える影響について便利になることは間違いないが労働への影響や地域に役立つのか慎重に見極めることが大切との提言を受けた。

第 15 回全国地方議員交流研修会 in 東北

2018 年 7 月 25 日～27 日

プログラム

7 月 25 日 (水)

全体会合

山形市：遊学館 大ホール

名刺交換会

ホテル 山形グランドホテル3階 白鳥の間

7 月 26 日 (木)

分科会 (遊学館)

第 1 分科会 / 2 階 学習室

第 2 分科会 / 2 階 第 5 研修室

第 3 分科会 / 3 階 特別会議室

第 4 分科会 / 3 階 第 1 研修室

全体会合 (2 階第 5 研修室)

7 月 27 日 (金)

東日本大震災被災地現地視察